

THE ROTARY CLUB OF NAGOYA-CHIKUSA



なごや
ちくさ
WEEKLY

名古屋千種ロータリークラブ
承認 1982年 8月24日
例会日 火曜日 12:30
例会場 愛知厚生年金会館
事務局 〒464 千種区池下一丁目4番18号
井上ビル4F D号
Tel 763-5110
会長 加藤大豊

見つけよう 奉仕の新生面
Discover a New World of Service

No. 31

1984~85年度 RI 会長 カルロス・カンセコ

第 125 回例会 昭和 60 年 2 月 12 日 (火) 晴

◇ “奉仕の理想”

◇出席報告

会員 54 名 出席 45 名
出席率 83.33 %
前回 2 月 4 日 (修正出席率) 96.30 %
make up

安藤君(2/6 和合), 橋本君(1/29 大阪南), 堀場君(2/5 名東), 加藤(敏)君(1/31 東南), 小林君(2/5 名東), 久保田君(2/8 北), 黒野君(1/30 和合), 黒須君(2/8 港), 松居君(2/6 和合), 宮尾君(2/6 和合), 永井君(2/1 春日井), 野村君(2/7 西), 大谷君(2/6 和合), 齊藤君(2/5 名東), 杉山君(2/5 名東), 笹野君(2/9 守山), 鈴木(正)君(1/31 東南), 鈴木(篤)君(2/1 北), 手島君(2/9 守山), 矢野君(2/5 名東)

◇ビジター紹介 6 名

◇お誕生日祝福

西川君(2/12), 堀江君(2/16), 大谷夫人(2/18)

◇ニコボックス

水野(賀)君(本日スピーカーを紹介させていただきます), 手島君(早退いたしますので), 久保田君(バッチ付け忘れしました)

◇谷口幹事報告

- 1 2月17日(日)のインターシティー・ゼネラルフォーラムに登録された方は、必ずご出席下さい。
- 2 次回例会はフェアサイドミーティングで、午後6時より松風閣にて開かれます。昼間の例会はございません。
- 3 ロータリーの友2月号が来ておりますので、お帰りにお持ち下さい。

◇加藤大豊会長挨拶

“オレとロンが首脳会談をやってもさっぱり動かなかった株価が、グロムイコとシュルツの会談で動くとはけしからん”というナカソ

ネさんの怒鳴り声が聞こえてきそうだ。まったく世界の投資家も薄情なもので、日米会談なんかいささかも評価しなかった。言ってみれば、そこから金の儲かるような話など出ようはずもなく、二人で大風呂敷を広げて終ると読み通していたようだ。ともあれ日米の親分同士の話し合いよりも、米ソの副将格の交渉の方が一枚上手だった。そして、世界の株式市場はそれを切っ掛けにして、その潮流を変えたと言ってよい。たとえ話し合いだけにせよ軍縮問題となればデタントに向かう。財政難で首が回らないのは、米ソ共通の悩みだから、妥協の余地はある。若干スピード調整をしていた米国の景気も、再び勢いづくだろう。ジュネーブでの会談は、曇のち晴を思わせるムードだったが、ロスでのロン・ヤス会談は、逆に晴のち曇というスタイルなもの不人気に輪をかけた。日経ダウはアッと云う間に新値を更新し、国際優良株に火がついて急伸した。ICの供給過剰、VTRの売れ行き不振、パソコンの値崩れなどという懸念材料も消し飛んでしまった。まずはご同慶の至りである。年末から年初にかけて慎重に構えていたことも、戻りに勢いをつけたようだ。

さて、米タイム誌によると、今や日本は世界一の資本投資国になるという。長い間、日本は貧乏国、欧米は金持ち国と思ってきた我ら中高年には、信じられないような出来高だ。しかし、現実にはこの正月もハワイに三万人もの日本人が押しかけ、現地の物価を正月値段にしたという。ともかく日本人はリッチなのだそうである。そうなれば株式市場で値上りが期待される銘柄も、その金持ちである日本人から儲ける企業ということになる。

◎族が◎に変身するには、お金持ちに物を高く売りつけるしか方法はない。そのためには多少のリスクを覚悟しても、値の安い株、高

値から大幅に下がっている株をあらかじめ買っておく必要がある。さて、そこでチャートブックなどを見ると、一年から半年前がピークで、現在は右下がりの安値ゾーンを出たばかりという株がゾロゾロある。今なら目をつぶって買って儲かるだろう。

絶好のチャンスとは言っても、果して現実はそううまく行くかどうか……………

◆講演

“現在中国の事情”

名古屋市立大学第3内科医

崔 林 氏 (紹介 水野(潤)君)



現在中国の事情をご報告申し上げます。まず教育の一つとして幼稚園の入園ですが、幼稚園に行かない子供と行く子供とは、能力の発育に差が生じる為、皆、5年～5年半位、幼稚園に行かせます。

そして小学校6年間、中学校3年間。高等学校3年後に卒業試験を受け、合格者は大学入試々験に挑戦します。大学の希望には3つあり、高得点の人はレベルの高い大学(北京大学、清華大学、上海大学)へ入学します。

次に各省の大学。そして市、県の大学の順です。私立大学は、建国以来一時なくなりましたが、最近、増えて来ています。

大学には3～6年、8年のコースがあります。中国の外国語教育は、一般的には中学校から始まりますが、今では小学校から始められる事も少なくありません。全体的に南は英語、フランス語、ドイツ語が強く、北は日本語、ロシア語が強いようです。問題点としては、①先生のレベル、②小・中・高・大学等の設備、③入学試験、④卒業後の派遣があります。次に中国の現在の国策についての問題ですが、貧乏落后の中国はどこから始まるのか？まずは精神・心のリフレッシュからです。中国の歴史は長い間、封建国家であった為、国民の生活は貧しく、近代に入り戦争、戦乱が続く。又、新中国以来、毛沢東の独裁主権の為、発展が遅れました。リフレッシュするには、世の中の色々な事を客観的に判断する。主観的であれば必ず失敗します。いい事、悪い事を正しく認識し、外国の経験を見ることによって、より中国をすばらしい国に築いていきます。中国の農業は、昔の人民公社制度が今は解散され、土地は全部農民達に分けられ、自分の好きな作物が作られています。歴史上始めて、1年の農産物が1人当たり、平均400kg

の最高水準に達しました。しかし、保存の場所が少ないため、中国総理大臣の話によりますと“政府の判断と方針がうまくいかず、今後バランスを考えて生産しなければならない。主食である米、小麦などの食物は充分なので肉類、野菜、果物類の生産に力を入れる。農村は農業だけでなく、土地を能力ある人に分けてもらい、多人数で経営する。残った人々は、農産物を工場加工する。”という方針が決められました。次に工業改革。

政府が援助する工業は、政府により計画を立てられ管理されます。それ以外の工業は、政府に管理されることなく、自分の好きな物を作る事ができます。但し、税金は取られます。うまく経営すれば、多くのメリットを得ますが、うまくやらないと利益も少なくなり、或るいは倒産という事になります。次に人口のコントロールの問題。世界人口46億。その内インドと中国で40%を占めています。中国の“One couple, one baby”の政策は、かなり厳しい方針ですが、人口10億を超す中国の将来にとって深い意味を持ち、中国の現状を考え、特別な時期として見なければならぬ方針の1つです。開放政策としては、発達国の技術を輸入する事を第一に考え、その為、日本の企業も近年中国との貿易や技術の輸出に力を入れています。特にこれからの世界は、知恵の競争時代です。知恵は技術を進め、それに連れ経済力も強まり、国も強くなります。政府や民間も一生懸命、科学技術の開発をしています。

次に中国医療の現状については、公費医療、合作医療、巡回医療、援外医療、私費医療、保健医療等の制度があり、問題点は、公費医療制度が不経済な事と、田舎の医療条件がまだ良くない事です。

次にハルピンの風土と人情。ハルピンは黒龍江省の首都、人口約300万。地名の意味は、昔の満州族の言葉にある“網を干す場所”の意。歴史は19世紀、小さな漁村しかなく1898年帝制ロシア東清鉄道建設の極点となって以来、今でもロシア風、ヨーロッパ風、日本風の建物が残っており、趣の変わった風情があります。気候は夏が涼しく、旅行は6～9月が最適で、冬の氷の網刻祭もなかなか面白い。資源は石油、生炭、木材、薬等。農業は米、小麦、とうもろこしと大豆。交通は北京から飛行機で1時間30分。残車では1,388kmあり、特急で約16時間位で行くことができます。見処は、スターリン公園、防洪記念塔、太陽島、児童公園、動物公園等がございます。

◆次回例会(2月19日)

夜間例会の為、講演はございません。

(P.M. 18:00より松楓閣にて)

◆次々回例会(2月26日)

講演 “禅”

会員 西村 禎二 君